

課題解決に資する提案等まとめ

優先的に取り組むもの／交通マナー・ルールの普及・啓発を目的として、できることから取り組む	
提案名	①交通ルール・マナーの学習機会の強化・拡大
地域課題	自転車危険・違反運転の増加、交通事故の増加・深刻化 交通ルール・マナーを知らない、または意識が低い区民の存在
解決の方向性	事故の危険性を再認識してもらうことによる意識の啓発 世代に応じた取組の強化・拡大
取組内容	<p>◎世代や対象に応じた啓発機会の拡大（交通安全教室の開催）</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶子ども・保護者→保育園・幼稚園の参観日や、家庭教育学級などの「場」を捉えた取組 ▶高齢者→老人会などで企画する交通安全教室の開催の支援 ▶現役世代→企業や事業所等への参加・協力の呼びかけ、連携など <p>◎スクエアードストレート方式の交通安全教室の拡大</p> <p>※スクエアードストレート方式＝スタントマンにより交通事故を再現し、恐怖を実感することで、自転車の乗り方等ルールとマナーの大切さを学び、また、事故につながる危険行為を未然に防ぐための教育手法－交通安全教室の方式</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶小中高生を対象に実施された教室（年3回）の拡大や開催回数の増加 ▶企業等への会場提供等の協力依頼、連携、参加呼び掛けなど ▶小学生や保護者をはじめ、多くの区民が直接体験でき、参加しやすい日時・会場の設定（機会の拡大） ▶スクエアードストレート方式の交通安全教室の映像化し、啓発用の資料を作成 ▶深刻な事故事例、区内事故件数等の実態などの広報 ▶既存のイベントやキャンペーンとの同時開催の検討
今後の検討課題	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全教室の開催支援の方法、現役世代へのアプローチ方法など ・会場・予算の確保、広報、対象など
担い手	<p>実行主体：検討</p> <p>協力依頼：町内会・自治会、交通安全関係団体、区PTA協議会、地域教育会議、区役所関係部署など</p>
取組スケジュール（案）	<p>[平成28年度以降] 実施に係る検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象や手法などの検討（既存の取組との連携など） ・広報・周知、企業等への参加呼び掛け ・交通安全教室の開催

担当・区民会議委員【 委員】

優先的に取り組むもの ／交通マナー・ルールの普及・啓発を目的として、できることから取り組む	
提案名	②「みんなで育てる交通マナー」啓発資料の作成・活用
地域課題	交通ルール・マナーを知らない、または意識が低い区民の存在 小杉駅周辺に特に多いベビーカーを利用する買物客
解決の方向性	交通ルール・マナーの普及・啓発 ゆずりあう、配慮し合うことによる「安心して通行できる環境づくり」の呼びかけ
取組内容	<p>◎啓発標語の募集、ポスターコンテスト等の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 交通マナーやルールの標語やポスターを、一般参加のコンテスト形式で公募 ▶ まちづくり推進委員会による作品集（マナー・モラルアップポスター作品集）の活用や「社会を明るくする運動」の標語の「テーマ」として取り上げてもらい、標語の募集 ▶ 既存のコンテスト等との連携の推進 ▶ 表彰式の開催、入賞作品の展示会など開催して、より多くの区民に周知を図る <p>◎啓発資料の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 中原区らしさ、分かりやすさ、読まれやすさを重視し、イラスト等を効果的に使用した啓発資料の作成 <ul style="list-style-type: none"> ・既存のコンテストの入賞作品を活用した広報資料の作成 ▶ 目に留まる・残る啓発資料の作成 <ul style="list-style-type: none"> ・しおり、マグネット、カレンダー、路面標示など、実現性や予算、形式等を考慮して検討（例：川崎信用金庫「川崎ジュニア文化賞 絵画の部 受賞作品集カレンダー」） ▶ 学校や区民の集まるイベント等で配布 <p>◎ベビーカー利用のマナーや周囲への配慮・啓発資料の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 国土交通省「公共交通機関等におけるベビーカー利用に関する協議会」の啓発資料の活用 ▶ ベビーカーの利用者にマナーを守ることを促す資料（横列通行、ながらスマホなど）を作成し、子育てサロン、乳幼児健診の場等で配布 ▶ ベビーカー利用者への配慮を促す資料を作成し、駅周辺、子育て施設、商店等で掲示
今後の検討課題	<p>①参加型の仕組みによる啓発資料…コンテストの形式、募集方法・対象・期間</p> <p>②啓発資料の作成…広報資料の形式・作成方法など</p> <p>③ベビーカー利用のマナー、周囲の配慮に関する啓発資料…国交省関係協議会の資料の活用方法、掲示場所や許可申請など</p>
担い手	<p>実行主体：検討</p> <p>協力依頼：中原区まちづくり推進委員会（マナー・モラルアップ事業による表彰）、子育て関係団体、交通安全関係団体、区役所関係部署など</p>
取組スケジュール（案）	<p>[平成 28 年度以降] 実施に係る検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存の啓発資料（国交省関係協議会）の活用の検討、掲示場所の調整等 ・啓発資料の作成 ・広報資料の作成に係る手法の検討（区民参加型、コンテストなどの手法）

担当・区民会議委員【松本委員、成田委員】

拡大を目指して取り組むもの／さらに多くの区民に取組を広げ、「みんな」で交通マナーを育む	
提案名	③「みんなで育てる交通マナー」キャンペーン・イベント
地域課題	自転車の危険・違反運転の増加、交通事故の増加・深刻化 交通ルール・マナーを知らない、または意識が低い区民の存在
解決の方向性	多用なメディアを通じたアピール、取組の認知の拡大 参加団体・活動団体の交流、相互情報交換による活性化
取組内容	<p>◎普及啓発を推進するためのしくみづくり・キャンペーンの展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 「みんなで育てる交通マナー」の言葉を活かして実施 ➢ サイクルの日（3/19）、二輪の日（毎月 20 日）等による定期的な意識づけや強化期間の設定 ➢ 特定の日等の設定に併せた一斉活動の展開・広報展開など ➢ 広報大使の任命・起用（知名度のある人や地域イベントに参加・協力できる人） <p>◎発表・交流の場の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 取組の内容や成果の周知、体験機会の創出 ➢ 既存イベント等での出展やステージでの発表等、取組体験機会の創出 例) 区民祭や区民会議市民報告会等の場の活用 <p>◎自転車安全点検などの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ イベント等で自転車の安全点検（タイヤ・ブレーキ・ライト等）の一斉実施（自転車販売業者等との連携） ➢ 「点検済」、「安全運転宣言」などの啓発シール、ステッカーの作成、配布 ➢ 自転車保険加入の推進の機会等として捉えて PR（自転車保険会社等との連携） →「自転車安全運転者証」の取組等に向けた検討
今後の検討課題	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンペーン期間の設定 ・手法・活用するイベントの設定 ・関係団体への協力依頼、「自転車安全点検」の基準・方法の設定 など
担い手	<p>実行主体：検討</p> <p>協力依頼：自転車販売業者及び関係団体等、既存イベントの実行主体</p>
取組スケジュール（案）	<p>[平成 28 年度以降] 実施に係る検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協力団体との調整 ・既存のイベント等との連携等の検討（協力団体への呼び掛けなど） ・キャンペーン、イベントの検討

担当・区民会議委員【反町委員】